

第3回全員協議会会議記録

開 閉 会 日 時	令和4年6月22日（水曜）		午後1時30分 開会
	休 憩 13:42-43 14:26-15:15		
会議場所	役場3階委員会室		
出席議員 氏 名	議 長 早苗 豊	議 員 鈴木 健充	議 員 橋本 和仁
	議 員 常通 直人	議 員 中村 和宏	議 員 中田智恵子
	議 員 西尾 一則	議 員 立川 美穂	議 員 黒田 栄継
	議 員 柴田 正博	議 員 梶澤 幸治	
	議 員 正村紀美子	議 員 渡辺洋一郎	
	議 員 寺町 平一	議 員 堀切 忠	
欠席議員 氏 名	議 員 広瀬 重雄		
説明等に 出席した 者の氏名	政策推進課長 石田 哲		
	政策調整係長 村上佳子		
事務局職員	事務局長 安田 敦史	総務係長 佐藤史彦	総務係主査 上田瑞紀
『会議に付した事件と会議結果など』			
1 開 会			
議長が開会を告げ、広瀬重雄議員欠席の報告後、事務局が日程を説明し協議する。			
2 議 件			
(1) 協議事項			
ア	図柄入りご当地ナンバープレートの導入に向けた取組みについて		資料1
イ	令和4年度議会サポーターの委嘱について		資料2
ウ	第3回モニター会議実施要領案について		資料3
エ	議員研修案（7月開催）について		資料4
オ	白樺高校連携事業案（2学年）について		資料5
カ	議員定数と報酬のあり方について		資料6
3 その他			
2 議 件			
(1) 協議事項			
ア	図柄入りご当地ナンバープレートの導入に向けた取組みについて		資料1
	・ 政策推進課長：協議事項の概要説明。資料は担当係長から説明する。		
	・ 政策調整係長：資料説明（経緯と目的、制度の説明、今後のスケジュール）		
	・ 議長：質疑はないか。		
	・ 梶澤議員：「導入の手続き」について芽室町での流れは？		
	・ 政策調整係長：地域住民の同意を得る手法は、現時点で未定。		

- ・梶澤議員：十勝一律の手法と解して良いか？
- ・政策調整係長：そのことも含めて検討となる。
- ・常通議員：導入地域の範囲については、帯広市を除く十勝管内町村が可能か？
- ・政策調整係長：町村会としては可能と捉えている。
- ・梶澤議員：図柄のイメージについて、あくまでもイメージか？地域住民からの応募の可能性もあるか？
- ・政策調整係長：本日お示しの資料は、あくまでもイメージであり、今後、選定方法も検討する。
- ・議長：今後、十勝町村会が主体となって検討を重ねることになる。所管委員会においては、適宜調査するなどし、取り組んでいただきたい。
(質疑・意見なし)
- ・議長：以上で協議事項「ア」を終了する。

イ 令和4年度議会サポーターの委嘱について 資料2

- ・事務局長：資料説明（例年通り事前に現任サポーター8名に対して、継続意思を文書確認した結果、全員から継続する旨の意思表示があり更新委嘱を提案するもの）。
- ・議長：質疑、意見はあるか。
(質疑・意見なし)
- ・議長：この内容で決定して進める。

ウ 第3回モニター会議実施要領案について 資料3

- ・事務局長：資料説明（1月27日開催の第2回モニター会議と同様のテーマとして「議員の定数と報酬のあり方について」の2回目。今回は議会内で協議してきた最終決定に近い整理を前提とした意見交換の場。モニター17名中、9名の出席。うち3名オンライン。最終的な人数確定を踏まえて、オンライン1グループ、リアル3グループの計4グループとした。）。
- ・議長：質疑はないか？
- ・梶澤議員：フリートークについて、テーマ以外の議論は、各グループの裁量となるか？
- ・中村議員：お見込みのとおりである。
- ・梶澤議員：改めて、モニター制度の設置要綱及び変遷を振り返ると、趣旨と実態が一致してきていない感覚もある。議運での議論経過はいかがか？
- ・中村議員：制度の是非については踏み込んだ議論はしていないが、次年度以降のあり方については、議運内で議論を深めていきたい。
- ・梶澤議員：モニターの視点に立った時に、年度最後のモニター会議は、それぞれが忌憚のない意見を出し合い、モニター自身にとって役割を担った充実や満足度を話す場面にすることも重要と考える。3回目の会議については、その時間を確保できるよう、第3回会議までの検討時間に限りはあるが、議運内での検討を期待する。

- ・中村議員：御提言を踏まえて、各グループで留意いただけるよう、議会内共通認識を図りたい。来週に迫っていることから大幅な変更は見合わせたい。
- ・立川議員：しばらくの間、コロナ禍の影響でオンラインが主となってきたが、リアルな会議の際は、テーブルクロス等の演出も配慮いただきたい。
- ・中村議員：今後に向けた提案として伺う。
- ・立川議員：今後に向けた取組みではなく、従前から実施してきた手法なので、継続していただきたい。
- ・中村議員：これまでの対応を確認してから判断させていただきたい。
- ・立川議員：意見を出しやすい環境づくりが目的であり、備品等があるのであれば躊躇なく演出に配慮をいただきたい。
- ・議長：コロナの影響が緩和されつつあるが、今もなお、会議室の体裁はアクリル板での仕切りなども設置しているので、意見を出しやすい環境と感染症対策の両面から議運内で協議して決定していただきたい。
- ・中村議員：議長の意見も踏まえて、議運として取扱いを決定していきたい。
- ・議長：他に意見・質疑はないか？
(なし)
- ・議長：議員各位の意見を踏まえた上で、提案のとおり決定する。

エ 議員研修案（7月開催）について 資料4

- ・事務局長：資料説明（当初6月28日の予定を変更し、講師と再調整した結果7月20日に決定。また、昨年予定で1年延期とした広尾町議会との「うみやま交流研修」を兼ねた企画。2部構成で1部は座学研修、2部はうみやま交流として「モニター制度の現状と課題」をテーマにグループ討議。1部の参加対象は両町議会議員、芽室町職員、一般町民の上限100名。2部は両町議会議員によるグループ討議を想定。今後、講師及び広尾町議会と詳細協議）。
- ・議長：意見・質疑はないか？
(なし)
- ・議長：今後、詳細については、資料の概要に基づき事務局で調整しながら、提案のとおり決定する。

オ 白樺高校連携事業案（2学年）について 資料5

- ・事務局長：資料説明（昨年度未実施となった1学年対象の議会体験を、1年越年しての実施。場所は「3」に記載のとおり3階議場。日程は「4」に記載のとおり、先方との協議により、2学年5クラスを各1時間行程で、7月15日、19日、21日の3日程で午前及び午後に分けて実施。議会の対応は「5」に記載のとおり、議運及び両常任委員会単位で受入れ。3ページ以降がフィールドワーク資料として「一般質問」及び「条例提案」等のシナリオ。）
- ・議長：質疑はないか？
- ・柴田議員：素朴な疑問だが、フィールドワークのテーマ例題に「街路灯設置要望」があるが、議会として、現実に取り組むべき深刻度を、学校側に確認するなどの行動

は必要ないか？学校側と意見交換してはいかがか？

- ・常通議員：あくまでも連携事業のテーマのみで完結するのではなく、実際の課題解決の取組として、その要否や可否について学校側と調整していきたい。

(なし)

- ・議長：他に意見・質疑はないか？

(なし)

- ・議長：以上のとおり決定し、各委員会単位で人員調整し対応する。

オ 議員定数と報酬のあり方について 資料6

- ・事務局長：本日は、これまでの議会内における議論を踏まえて、議運において、全項目を「答申書」の体裁にまとめたので御協議いただきたい。特筆すべき事項は、2ページの「常任委員会数」の整理。広報広聴に関する機能について、常任委員会としての検討経過を明文化したところだが、法令等でその定義が明確になっていることから、その解釈が明確になるよう朱書きに修正したもの。また、5ページの「報酬と手当」については、初めて文章化したもの。今回の結論は、現状通りとし、今後に向けて、原価方式の詳細整理、副委員長の報酬区分の新たな設定、活動量の定義、期末手当のあり方などを研究課題とするまとめとしたところ。

- ・議長：意見・質疑はないか？

(なし)

- ・議長：他にないか？

(なし)

- ・議長：ここで本休憩とする。分科会を開催していただきたい。

- ・議長：休憩を取り消し、会議を再開する。各グループから協議の概略を報告いただきたい。

- ・常通議員：「グループ1」の報告をする。特筆すべき事項としては、副委員長の報酬区分については、検討の必要性が高く、緊急性の高い課題であることを共有したところである。

- ・黒田議員：「グループ2」の報告をする。特筆すべき事項としては、政務活動費について、令和6年度に向けた検討は共通認識を図ったところだが、今般の検討経過はきちんと引き継いだ協議になるよう確認したところである。

- ・鈴木議員：「グループ3」の報告をする。特筆すべき事項としては、報酬について「議員報酬シミュレーションシステム」を参照しながら議論を深めた。なり手不足対応に及ぶ意見交換も行った。

- ・議長：次回議運において、今回の協議結果を踏まえて、改めて議論を深めていただき、その結果を次回の全員協議会で共有する流れとする。

3 その他

- ・議長：2点について情報共有する。事務局長から説明する。

- ・事務局長：1点目は「女性の政治参加に関する調査」協力についてである。全議員に対して北海道地方自治研究所（北大公共政策大学院山崎教授所属）から依頼が

あったものである。調査結果集計後、山崎教授と議会との意見交換を想定している旨伺っている。事務局に備え置いているので帰りに1部ずつお持ち帰りいただきたい。

- ・議長：意見・質疑はないか？
- ・（意見なし）

・事務局長：2点目は「令和4年度モニター制度について」である。議会だより5月号等で募集したところだが、現時点で応募はゼロであり、本日はこの情報共有が趣旨である。今後、先ほどの議員各位からの御意見も踏まえて、速やかに議運で取扱いを検討し、改めて全協で協議する予定で取り進めていることについて共通認識を図りたい。

- ・議長：意見・質疑はないか？
- ・（意見・質疑なし）
- ・委員長：説明どおり決定とする。

・議長：各議員から「その他」はないか？

・立川議員：モニターの募集方法について、月1度の「議会だより」のみならずSNS活用にも配慮いただきたい。

- ・議長：意見として受け止める。他にないか？
- ・（なし）

・議長：以上で会議を終了する。

傍聴者数	一般者	0名	報道関係者	0名	合計	0名
------	-----	----	-------	----	----	----

記載のとおり報告する。
令和4年6月22日

芽室町議会議長 早苗 豊